

## 警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

### ● 安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。


### ● 故障したら使わない


動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にお持ちになる際は、必ずヘッドホンとトランスミッターを一緒にお持ちください。

### 警告表示の意味

取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。


 **警告** この表示の注意事項を守らないと、大けがなど人身事故の原因となります。



 **注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

### 行為を禁止する記号



禁止

 **警告** **下記の注意を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。**


 火災  感電

### 運転中は使用しない

自動車やバイク、自転車などの運転中に、ヘッドホンは絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。



禁止

 **注意** **下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

### 大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

### はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

## 電池についての安全上のご注意

**液漏れ・破裂・発熱・発火**による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

### 警告 乾電池について

- 機器の表示に合わせて⊕と⊖を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

### 注意

- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないと取りはずす。

液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。

### 乾電池が液漏れしたとき

#### 乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が出てくることもあります。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

### アフターサービス

#### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

#### それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

#### 部品の保有期間について


当社ではコードレスステレオヘッドホンの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

SONY

# コードレスステレオヘッドホン

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## MDR-IF140

©2002 Sony Corporation Printed in Malaysia



\* 3 2 4 8 3 6 4 0 6 \* (1)

## 主な特長

本機は赤外線を使用したコードレスステレオヘッドホンです。別売りのトランスミッターをヘッドホン端子、または音声出力端子のあるテレビやオーディオ機器に接続するだけで、ヘッドホンコードにわずらわされることなく、手軽にお使いいただけます。

- 外来ノイズなどの影響を受けにくい赤外線を利用した、コードレスステレオヘッドホン
- ヘッドバンドの長さの調節が不要のフリーアジャスト機構を採用
- ヘッドホンの左右の音量を連動して調整できるVOLつまみ
- 本機は、すでにソニーコードレスヘッドホンシステムをお持ちのかたがそれらのシステムでお使いになれるヘッドホンです。

### 本機は単体ではご使用になれません

別売りのソニーコードレスステレオヘッドホンシステム（MDR-IF630RKを除く）と組み合わせるお使いください。

## 主な仕様

### 一般仕様

変調方式	周波数変調
搬送波周波数	右チャンネル 2.8 MHz 左チャンネル 2.3 MHz
周波数特性	18 ~ 22,000 Hz
電源	DC 1.5 V (単4形乾電池×1)
質量	約125 g (乾電池含む)

### 付属品

単4形乾電池 (1)、取扱説明書 (1)、ソニーご相談窓口のご案内 (1)、保証書 (1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

### ご注意

CEマークはおもにEEA(European Economic Area)各国など、法律で定められている国においてのみ有効です。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ……………0120-333-020	フリーダイヤル ……………0120-222-330
携帯電話・PHS一部のIP電話 ……………0466-31-2511	携帯電話・PHS一部のIP電話 ……………0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	

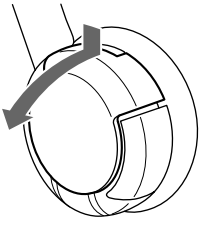
FAX (共通) 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

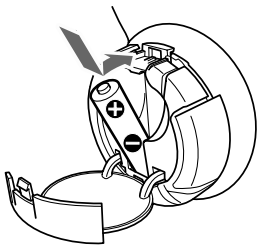
▶ 準備

## ヘッドホンに電池を入れる

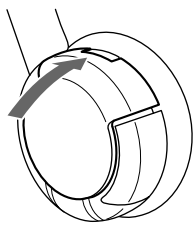
1 左ハウジング部にある電池ぶたを開ける。



2 付属の単4形乾電池を入れる。



3 電池のふたを閉じる。



### 乾電池の持続時間

乾電池の種類	持続時間*1
ソニーアルカリ乾電池 LR03/AM-4(N)	約60時間*2
ソニーマンガン乾電池 R03/UM-4(NU)	約28時間*2

\*1 1 kHz, 1 mW+1 mW出力時

\*2 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

### 電池の交換時期

電池が消耗してくると、ヘッドホンの電源ランプが暗くなってきます。また、音がひずんだり、雑音が多くなります。その場合、電池を新しいものと交換してください。

▶ 使いかた

## 音声を聞く

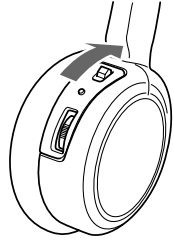
はじめに

- お持ちのトランスミッターを聞きたいAV機器に接続します。トランスミッターの接続や操作については、トランスミッターに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 耳の保護のため、ヘッドホンの音量を下げてください。

1 トランスミッターに接続したAV機器の電源を入れる。

2 ヘッドホンの電源を入れる。

右ハウジング部上の電源ランプが赤色に点灯します。

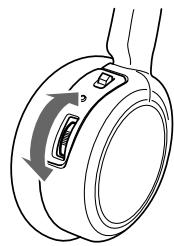


3 ヘッドホンをかける。

右ハウジング部 (R) を右耳に、左ハウジング部 (L) を左耳に合わせてください。

4 トランスミッターに接続した機器を再生する。

5 音量を調節する。



## 雑音が増えると自動的に音が聞こえなくなります

### — ミュート機能

赤外線が届く範囲から離れたり、赤外線がさえぎられたりすると、雑音が増え、音が聞こえにくくなります。この雑音による耳への負担を減らすため、自動的にミュート機能が働き、ヘッドホンから音が聞こえなくなります。トランスミッターに近づくか、赤外線がさえぎられないようにすれば、自動的にミュート状態は解除されます。

## 使い終わったら

ヘッドホンはずしてから、ヘッドホンの電源を切ります。(ヘッドホンはずす前にトランスミッターからACアダプターをはずすと、雑音が入ることがあります。)

▶ その他

## 使用上のご注意

### 取り扱いについて

本機を落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。

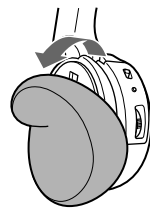
### 次のような所には置かないでください

- 直射日光が当たる所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所 (なるべく5℃~35℃の範囲でご使用ください。)
- 風呂場など、湿気の多い所

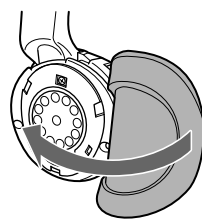
## イヤークッションを交換するには

イヤークッションは消耗品です。汚れたり破損した場合は、下図を参照してイヤークッションを交換してください。イヤークッションは市販されていませんので、お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせの上、お取り寄せください。

1 古くなったイヤークッションをはずす。



2 イヤークッションをハウジングの外周に合わせるようにはめ込む。



## 故障かな?と思ったら

### 音が出ない。音が小さい。

- ヘッドホンの電源を入れてから、ヘッドホンをかける。
- トランスミッターとAV機器、ACアダプターとの接続、電源コンセントとの接続を確認する。
- トランスミッターにつないだAV機器の電源が入っているか確認する。
- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、つないだ機器の音量を上げる。
- ミュート機能が働いている。
  - トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
  - なるべくトランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。
  - トランスミッターの位置や角度を変える。
- ヘッドホンの電源ランプが暗い、点滅する、または消灯している場合はヘッドホンの電池を交換する。

### 音がひずむ。

- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、接続したAV機器の音量を下げる。
- ヘッドホンの電源ランプが暗い、点滅する、または消灯している場合はヘッドホンの電池を交換する。

### 雑音が多い。

- トランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。(トランスミッターから離れるにつれて雑音が多くなります。この現象は赤外線特性によるもので、故障ではありません。)
- トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
- 赤外線受光部を手や髪でおおっていないか確認する。
- 直射日光の入る窓際で使っているときは、カーテンやブラインドを閉めて直射日光が当たらないようにする。または、直射日光の当たらない場所で使う。
- トランスミッターの位置や角度を変える。
- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、つないだ機器の音量を上げる。
- ヘッドホンの電源ランプが暗い、点滅する、または消灯している場合はヘッドホンの電池を交換する。